

ありがとう通信 2006.05 第15号

浜松ファイナンシャル
プランナーズ事務所

第1号から読みたいという方はご連絡ください(053-474-8266)。
当社のホームページからダウンロードできるようにしました。

■FXをためしにはじめてみました。(ちょっと刺激が欲しい運用御希望の方に。)

私は、お客様から、「どういう投資をしてるんですか?」と聞かれます。とりあえず、正直に答えますと、長期の期待リターンが7%の安全な(^_^;)積立をコツコツしております。もちろん、これから、いろいろ投資したいものがあります。その1つに、外国為替証拠金取引(通称FX)があります。

ためしに、4月12日から1週間だけトライしてみました。いろいろ調べてみましたが、よくわからないので(笑)、豪ドルを購入しました。

4月12日 豪ドル買い/円売り 1豪ドル=86.51円

です。購入数は、なんと20万豪ドル・・・。日本円で、約1,700万円です。って、こんなお金はもちろどこにもありません。

FXの投資金額はいわば証拠金。実際は、140万円を投資したんですけど、動いているお金は1,700万円もお金なんです。(レバレッジかせる・・・といえます。今回は約10倍です。)

だから、豪ドルが10%下落したら、投資金額は、10%減るのではなく170万円減ってしまうので、ゼロになってしまうどころか、さらにお金を追加しないといけません(これを追加証拠金、略して追証(おいしょう)といえます)。

FXって、非常に怖い投資ですよ～。さて、1週間経過した状況なんですが、

4月19日 1豪ドル=87.63円 (↑1.1円上昇)
20万豪ドル × 1.1円 = 22万円 の利益!

たった1週間で、140万円→162万円 (15%増加)

です。さらに、FXの魅力はこれだけではありません。金利が毎日入ってくるんです。また海外の金利は日本と違って非常に高いです。ちなみに、豪ドルは5%以上あります。1年間で、20万豪ドル×5%=1万豪ドル=約87万円の利息があります。それを365日で割ると、1日あたり約2,400円の利息が入ってくるんです。

(豪ドル買い、円売りのポジションの場合)なので、1週間では約17,000円の利息がもらえるんです(スワップといえます)。

・・・ということで、これはすべて架空のお話。最初は、練習ということで、バーチャルFX(但し、相場は実際のものを使います。手数料とかも)でのお話です。(山中)

※今回のコラムは投資を推奨するものではありません。投資の御判断はご自身にて

著作・発行 浜松ファイナンシャルプランナーズ事務所

無料ガイダンス、保険見直しの相談をご希望される方はイマズグ電話無料相談(053-474-8266)をご利用下さい。

〒433-8122 静岡県浜松市上島6-1-31 美建ビル3F

電話 053-474-8266 (FAX兼用) 携帯 090-5616-1263

メール yamachan0511@ybb.ne.jp

ホームページ : <http://www.hamamatsu-fp.com/>

グーグルで「浜松 FP」と入力して

一番最初にでてくる場所。

山中崇寛 : 最近趣味として積極投資を始めようとしてるFP

大石ゆき : 将来の教育費の準備の相談ができるFP

<スタッフのひとりごと>

今回はGW前にありがとう通信を書いてます。皆様は、どのようなゴールデンウィークでしたか?お酒が飲めないボクは、浜松祭りは少々敬遠しがち。浜松から脱出したいんですけど、



今月のトピックス

- ・お客様のご感想!ありがとうございます。
- ・収納がたくさん欲しい!の注意点(中尾)
- ・年金を頼らない資産作り(大石)
- ・FXを始めてみました。(山中)

初夏の風が心地良く
頬をなでてゆきます。大空を
泳ぐ鯉に負けないう。
皆様はりきりまいる(山中)

■お客様の声～ありがとうございます～

皆様からお寄せいただく、感謝の声は私たちがプロとしてFPサービスを提供し、改善し続けるために役立つとともに、この仕事をしていく上で最大のエネルギーになります。どうもありがとうございます。今回は、無料相談会には何度か行ってみたいけど・・・というお客様の声です。どうもありがとうございます!!(山中)

保険については20代の頃から関心があり、いろいろな情報を得て見直しも何度かしました。また、無料相談会にも何度か行って見ました。自分なりに努力はしてきたつもりでしたが、今回山中さんにいろいろと教えていただいた。やはりプロの力は必要だと思いました。

- ① 山中さんは、どんな質問にもプロとしての専門知識から適切な解答をしてくださる。(こちらが納得いくまで熱心に説明してくださる。)
- ② 保険見直しを家計全体からとらえて、安心して暮らせるようなプランを提供してくださる。
- ③ 保険見直しをしたらそれで終わりというわけではなく、アフターフォローもしてくださるということ。大変心強い。

長時間、とことん相談にのってくださった山中さんの多忙さを知り、山中さん自身の健康が心配になりました。どうぞ、お体を大切になさって、これからも頑張ってください。ありがとうございました。

(浜松市40代主婦様)

うれしくなるような御感想ありがとうございます。保険見直しで一番してはいけないことは、「保険料の比較」と「保険商品の研究」の2つです。また、無料相談と原則有料相談の当社の違いもわかっていただき大変うれしく思います。これから、将来にわたって万が一のことがおこっても、おこらなくてもお金に困る可能性を大幅に減らしました。(山中)

マネー美人になれる7つの魔法

●新しい家は収納がたくさんあったほうがいいと思われてる方は要注意！その代償とは？

「家の大きさが結構むずかしいな？」
「大きすぎても無駄だし、狭すぎても不便だし・・・。」

みなさんが一番悩まれるところだと思います。なぜなら、建築費が一番大きく影響する部分だからだと思います。住まれる家族構成や生活スタイルによっても違うので、一概には言えませんが、今回は私なりのアドバイスをさせていただきます。

○ポイント1
不要品を処分する習慣をつけること。

できるだけ収納の多い家を作ろうとしすぎている人は要注意です。もちろん必要最低限の収納スペースは必要です。でも、あればあっただけ不要品を詰め込んでしまいがちになりやすいです。その代償が大きな家につながります。

○ポイント2
子供部屋など実際に新築した状態で何年使うことになるか検討する。

大学進学や結婚で別世帯になり、大きな部屋が2つ空き部屋になってしまった。結局大きな納戸の変わりに・・・という話もときどき聞きます。

○ポイント3
スペースのムダを具体的に金額検討する。

例えば、建築費2000万円で40坪の家を買ったとします。30年住んだ場合、1坪（畳2枚分）の建築費は年間約17,000円で建物固定資産税は年間平均約3,000円と予想されます。もし、仮に6畳の部屋がムダなスペースになれば、30年で1,800,000円にもなります。

以上のポイントを頭に入れながら、検討してみてください。

「私は、物を捨てられないから困ったな」と思われた人は、例えば物置を設置するもの良いと思います。ちなみに固定資産税ほとんどのケースでかかりません。

また、部屋が必要になったときに増築しやすいようなプランにしておくことも良いと思います。何か質問などあれば下記まで連絡ください。（中尾：053-587-7677）

●お金持ちになるちょっとした秘訣

170組以上のお客様と接して気付いたことがあります。お金をある程度上手に貯めてる方（上手に使ってる方）と、中々お金がたまらない（お金の使い方にムダがある方）とでは、ちょっとした違いがあります。

それは、「決断力」の違いです。保険見直し、資産運用、住宅購入などの大きな買い物から、普段の食事の買い物など、さまざまな購入の決断を迫られる場面が多々あります。

トクに、大きな金額になると、「慎重に」「石橋をたたいて・・・」といろいろ考える方が多いかと思えます。

『ある程度考えたら、それ以上考えても無駄』ということでしょうか。おそらく、余計なことを考え過ぎて、判断を誤る結果になることがあるのでしょ。長い時間考えると、否定的な要素を多く検討することになり、購入後もそのことを思い出して不満を感じるのかもしれない。もちろん、何も考えず行動を起こすことがもっとも悪いのですが、逆に、考えすぎて（検討しすぎて）損をしているんだなと思われる方も多いのが現実です。

マネー美人になるちょっとした秘訣は、「ある程度考えたら決断する。」ということでしょうか。お金はあとで取り戻すことが出来ますが、時間は2度と戻ってきません。Time is MONEYとはよくできた言葉ですね。（山中）

年金に頼らない資産作りで老後の生活費を確保！（何事も早め×2（^^）v）



大石ゆきです。長男（9才・小四）長女（6才・小一）、次女（4才・年中）の3児の母でもあります。今年のゴールデンウィークは長かったですね^^；。子供は、休みが多いのでうれしがってましたが、母親は大変ですよ～。

現在45歳で、夫が20歳から60歳まで40年間会社勤めを続け、順調に昇給し、奥さんは20歳で結婚した後1度も働いていない…という年金的に有利なケース人の場合で、65歳になった時点でもらえる給付金額は、働いていた頃の給料の50%程度です。

多くの人は30%程度ではないでしょうか。また、2008年にはこれまで年金保険料を払っていた団塊の世代が定年退職を迎えます。受給者が急増して、年金制度のバランスは更に崩れてしまいそうです。

となると、当然年金保険料を払い続けることに疑問が生まれてくるわけです。

↓以下、国民年金（第1号被保険者のこと）↓
現在、年金保険料を支払うべき人の4割以上が支払いをしていないそうで、なかでも20代の人半数が国民年金保険料を払っていないのだそうです。でも、公的年金には税金も使われているのです。政府はどうか今の年金制度を維持していこうとしていますから、年金保険料からの収入が減れば、税金がアップするのです！

せめて私たちにできることは、選挙で年金制度について一生懸命考えている候補者、政党に投票することでしょうか…

そして、年金制度の不安＝老後の生活費の不安ですね。

「年金があるから老後はなんとかなる」という時代は終わってしまったわけですから、自分でなんとかしなければならなくなっています。以前、山中FPが『びびれ浜松』に「老後のための資金として、60歳までに3000万円貯めましょう」という記事を掲載させていただきました。お金について不安を感じることなく老後を過ごすために、老後資金作りは大切ですね。（大石）

先日、私の母(61歳)が「おじいちゃんの時代に比べて、年金が少ない」とぼやいておりました。結構、苦勞を重ねてきた母ですので、なんだか可哀相に感じました。

というわけで、今回は年金のお話。

もともと相互援助の精神で成り立っていた年金制度でしたが、少子化により限界が見えてきた…ということで平成16年に年金改革が行われましたね。

それでどうなったのかというと（厚生年金の場合）

- ①段階的な保険料の引き上げ
 - ②将来の給付金を削減
 - ③給付開始時期を遅らせる
 - ④物価に連動しなくなった
- 等、払う保険料は増えるandもらう保険金は実質目減り・・・なんだか不安が募るばかりです。

<保険料負担額と年金給付の関係>

1999年の年齢(夫)	保険料	給付総額	倍率
70歳	600万円	6800万円	10.8倍
60歳	1200万円	6500万円	5.5倍
50歳	1700万円	5700万円	3.3倍
40歳	2200万円	5100万円	2.4倍
30歳	2600万円	5000万円	1.9倍
20歳	3000万円	4900万円	1.7倍
10歳	3200万円	4900万円	1.5倍